２学期　終業式　式辞

みなさんおはようございます。２学期も今日で終わりとなりました。みなさんにとって、この２学期は、どんな２学期だったでしょうか。たくさんの行事がありました。運動会やマラソン大会、６年生の修学旅行や各学年の社会見学・体験学習など、様々な行事や日々の学習を通して、みなさん一人一人がしっかりと成長することができました。その学習の成果が昨日の大掃除に表れていました。教室の床や廊下、外掃除など、自分の清掃分担を友だちと協力をして一生懸命に掃除をしている姿は見事でした。昨日のみなさんの掃除をする姿を見て、校長先生はとてもうれしく感じました。

さて、今年最後のお話として、詩人、まど・みちおさんの「ぼくは何を」という題の詩を読みます。

ぼくは何を

まど・みちお

ぼくは　何をもっているのだ
やさしさなら　お母さんがもっている
勇気なら　おとうさんが
すなおさなら　ポチが　／　賢さなら　先生がもっている
がまん強さなら　冬のムギが　／　勤勉さなら　夏のアリが
そして　美しさなら　／　道ばたの一本のタンポポがもっている
で　ぼくよ　何をもっているのだ
いつも後で　しまったと思う　おっちょこちょいと
だれにも負けない　いたずら心の他に……
笑うなかれ！　／　希望だ……
やさしくて　勇気があって　／　すなおで　賢くて
がまん強くて　勤勉な　美しい心
に　ぼくを少しでも近づけたいという……
笑うなかれ！　という　ぼくよ
自分で笑っちゃ　サマにならぬぞよ！

まど・みちおさんらしい、とても面白い詩です。やさしくて、勇気があって、すなおで、賢くて、がまん強くて、勤勉で、美しい心をもった人間になりたい。そういう人間に少しでも近づきたい、という純粋な「ぼく」の希望をうたっています。

今日はこのあと、担任の先生から通知表「のびゆくあと」をもらいます「のびゆくあと」にはみなさんの成長の姿、学びの足跡が記されています。しっかりと受けとめて、３学期に向かって一人一人がもっている大切な力を捉え直し新たな目標につなげていきましょう。

これで校長先生のお話を終わります。

令和４年１２月２３日
杉原谷小学校長　荻野　学